

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	いろどりキッズ		公表日		令和8年 3月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	遊ぶスペースと生活スペースを区切って活動している。	利用人数によってスペースが狭く感じることもあるので、ホールを借りるなどして対応する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	担当を決めて支援している。	利用人数に合わせて、職員配置を考える。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	児童や時期に合わせた構造化を行っている。	更に安心して過ごせるように工夫して構造化を進めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日掃除をして、清潔を保っている。	冬は寒く感じるがあるので対策をする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個別の部屋を使い対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		ミーティングや会議で話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		対応時に意見を取り入れながら日々の支援を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングや会議で話し合いをしている。	個別面談等の頻度の調整が必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	取り入れる検討をする。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年に数回研修に参加をしている。 社内で月に一度研修を行っている。	インプットだけではなくアウトプットもできるようにしたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		面談や日々の姿をみて、適切な内容を検討し作成している。	保護者の方と連携して作成していきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員全員でケース検討を行い、最善の支援ができるように努力している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		情報共有をしながら、共通した支援が行えるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		検討し確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿って、それぞれの項目に当てはまるように設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		順番に担当を変えながら対応している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		同じ活動が続かないように、バランスを見て作成している。	日々の活動を提示できるようにしたい。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別と集団をバランスよく組み込んで対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝ミーティングを行っている。参加できない場合は必ず申し送りをしている。	要点を分かりやすく話し合えると良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	職員室で話すことがある。現状は朝のミーティングで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録をしている。	要点をおさえながら記録ができると良い。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングの実施をしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と連携しながら支援を行う体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		担当者会議等を通して、直接やりとりをしている。	放課後等デイサービスとも情報共有できると良い。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		情報共有をして、スムーズな移行ができるように配慮をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		現状実施できていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	設けていない。	今後実施の検討をする。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳にて情報共有をし、共通理解を図っている。	左記以外の方法でやり取りをする機会があっても良い。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	実施できていない。	ペアレントトレーニング研修受講者を中心に保護者の方向けの研修を検討する。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明している。	契約後も確認できる機会があると良い。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		計画案作成時、保護者と面談やアンケートを通して保護者の意向を踏まえて作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		面談時に説明をし、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時や連絡帳、面談時に相談を受けている。	左記以外の機会でも相談を気兼ねなくできる環境を整えたい。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	実施していない。	今後実施の検討をする。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		できるだけ迅速に解決できるように努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	毎月お便りを出している。	お便り以外でも活動の発信ができるとよい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの保管庫に収納している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚表示等を用いながら、支援をしている。	ニーズに合ったものを提供していきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		取り組んでいない。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		毎月避難訓練の実施をしている。（火事、地震、洪水、不審者）
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		上記の通り行っている。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認している。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		お弁当、おやつは基本持ち込みなので特別な対応はしていない。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			検討、見直しをする。
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			再度周知をする。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎月の会議にて共有し、協議している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年に数回虐待防止委員会を開き、情報共有をしている。委員長は研修に参加している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		個別支援計画に記載している。	面談時に説明をしても良いか検討する。	